

CASBEE 広島 2016年版
 (仮称)DPL広島観音 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境					0.31		-		2.6
1 音環境				3.5	0.15	-	-		3.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				3.8	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能		事務室Dr-45 CONt=120		5.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音		各事務室:床タイルカーペット天井ロックウール化粧吸音板の二面		4.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				1.7	0.35	-	-		1.7
2.1 室温制御				2.5	0.50	-	-		
1 室温				1.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		事務所用途:SC=0.59,U=2.9外壁U=0.764,中間レベル4		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				2.7	0.25	-	-		2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室B 726.6lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.3	0.25	-	-		3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		使用建材はF☆☆☆☆認定品または規制対象外		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.3	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		負圧の喫煙室AB(1.5階)を有する		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.3
1 機能性				3.1	0.40	-	-		3.1
1.1 機能性・使いやすさ				2.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				2.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務室天井高さCH=3.0m		5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		事務室1%以上のリフレッシュスペース(ラウンジAB)+自動販売機		4.0	0.33	-	-		
3 内装計画				1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		維持管理性に配慮した仕上材の選定		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		各トイレ毎に清掃用流しを設け維持管理用機能を確保		5.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		事務室床・ビニル材20工場天井・屋根現しガルバリウム鋼板25年		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種:給水管、汚水排水管、雑排水管:B以上Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		事務所・パッケージエアコン15年,工場用・受水槽 20年		4.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		工場中央監視設備無,事務所吊配管・マイコンタイプで個別に制御		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化,地下への設置無し		3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上		5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.03		5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				3.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	将来対応可能なスペースを確保、かつ予備電源等有り		4.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.39	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.57	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.44	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水器具を過半に使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			路盤材:再生クラッシュランRC-40,OA707:ニチアス シグマ707	4.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が容易に分別可能	4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			建材種別4つ以上含まない	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロンかつGWP=1以下を使用		5.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出量69%に抑制	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			ガス燃焼設備の使用なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車台数は広島市の条例の基準を満たす		4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリストの過半を満たす、屋外広告物照明なし		5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	